

## 2. 調査報告書

主任調査員氏名 常盤 武志 / 同行調査員氏名 鎌田 利道

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の利用者が持つ能力に応じて、可能な限り自立的な生活の実現のための支援を行うという理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は理念で掲げられている利用者の自立支援を実現するために、職員会議などで検討を重ねながら、職員全体が共通認識をもって支援を行っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の夏祭り、盆踊りなどの行事への参加、近所への散歩などを通じて地域との交流の機会を作っている。 ホームへは、近隣保育園児が来訪し、ホーム内で交流を図っている。		地域交流がさらに日常的なものとなるよう、ホームの側から交流の機会を積極的に作っていくことを望む。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価や自己評価を自ら提供しているサービスの実態を客観的に見つめ直す機会と捉え、明らかになった課題については、職員会議などで対策を検討している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を地域交流を進める機会として活用している。会議において、推進委員の方へアドバイスを求め、寄せられた意見をホーム運営に参考にしている。推進委員もホーム運営へ積極的な姿勢を見せており、夏のバーベキューやクリスマス会などの行事へも参加し、ホームの実態を掴もうとしている姿勢も評価できる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町の福祉課や地域包括支援センターと連携を図り、地域福祉の推進やホーム運営について連携を図っている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の訪問時に日常の様子を伝えたり、お便りを出したり、しばらく訪問がない家族には電話で連絡する等、入居者の様子をできるだけ多く伝えるよう工夫している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>あまり家族からの要望を受けるケースは少ないようであるが、家族から意見や要望が寄せられた場合には、職員会議などで対策を検討し、ホームの運営に役立てている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動や新たに採用された場合には、利用者のダメージが少なくなるよう、日中勤務から始め、利用者との関係が築けてから夜勤勤務を行うなどの配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員育成については、採用時から育成プログラムに従い、定期的に職員との面談を重ね、仕事上のアドバイスを送ったり、悩み、相談を聴くなどのきめ細かなフォローアップを行っている点は評価できる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	十勝GH協議会において情報交換や相互評価を行うなどお互いが切磋琢磨してサービスの質を高めようとしている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居開始には、入居者、家族、職員が連携して、自宅での様子、生活習慣などの情報を基に、スムーズに入居できるように配慮している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホーム内では、入居者、職員がお互いに協力し合いながら生活している様子が確認できた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は、入居者の意向を大事にしていることが、会話において、入居者に思いを聞いているなどの様子から確認できた。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、職員会議などにおいて、本人のニーズ、家族の意向、支援経過記録などの情報を基に、入居者の自立支援につながるような介護計画を立てている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の状態の変化などにより策定した介護計画が実態に合わなくなってきた場合には計画の見直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ホームは、隣接する特養と一体となって介護サービスを提供できる拠点となっており、入居者、家族のニーズに対応できる体制が整えられている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の意向をもとに協力病院にて診療してもらっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期ケア加算が取得できる体制は整っていないが、法人の他の事業所では看取った事例はある。(GHではまだ実績はない)		GHにおいても終末期ケアを実施する可能性はあり、ホームの終末期の方針を共有化するような研修などを継続的に行っていただくことを望む。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員ひとりひとりの入居者に対するやさしい口調の声かけや支援の様子からプライバシーを十分に尊重した対応であることが確認できた。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活は入居者の思いや希望をできるだけ聞き出し、その人らしい生活が送れるよう支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の時間は、入居者と職員がテーブルを囲み、会話を楽しみながら食事をとっている様子が確認できた。 また、食べこぼしや後片付けなどについては、職員が必要に応じてサポートを行っていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は入居者の希望に合わせていつでも入浴できるよう支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム内では、入居者ひとりひとりの好みや希望に応じて出来るだけ自由な時間を過ごしている。また、入居者のできることについては、食事の準備、後片付け、掃除などの役割を担ってもらっている。		ADLが低下傾向にあるとのことであり、個々の役割の見直しなど職員間で話し合いを行い、対策を立てていただくことを望む。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には、隣接する庭や公園、近所の散歩などをすることで外の空気を吸う機会を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけることなく、外出は自由に行うことができる。外出した場合には、職員が付き添うなどのサポートを行っている。 夜は防犯上、鍵をかけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時の避難訓練は消防署員の立会のもと行われ、避難時対応などのアドバイスをもらっている。</p>		<p>緊急時の初期対応、役割分担などについては、いざというときにすぐに動けるように日常的に確認を行っていただくことを望む。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養摂取については、入居者の身体状況や栄養バランスを考えた献立のもと、適量摂取できるよう支援を行っている。 水分補給は日中、お茶を飲むなど自然な形で補給できるよう支援を行っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内は日当たりもよく、スペースも十分であり、入居者がゆったりと過ごせる恵まれた居住空間である。 気になるにおいを感じることもなく、清潔感も感じられた。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室は入居者個々のなじみの物、家具が持ち込まれ、自宅との継続で居心地のよい居住空間となっている。 居室はそれぞれ日当たりを考慮した間取りになっており、明るい居室である。</p>		

は、重点項目。